

令和 6 年度 施策評価表

施策	0502	スポーツの振興	施策担当部	市民環境部	部長	石山 光昭
			施策担当課	スポーツ振興課	課長	橋本 学
施策の方針	スポーツへの参加促進や指導者の育成を図り、生涯スポーツ及び競技スポーツを推進する。また、スポーツ施設を充実するなど、誰もが気軽にスポーツに親しめる環境を整える。					
関連するSDGsのゴール	3 すべての人に健康と福祉を  11 住み続けられるまちづくりを  16 平和と公正をすべての人に  17 パートナーシップで目標を達成しよう 					

【ＤＯ（実施）】

後期基本計画（令和３年度～令和７年度）における数値目標

指標名		単位	基準値 (R1)	R3目標値	R4目標値	R5目標値	R6目標値	R7目標値	R5年度	
				R3実績値	R4実績値	R5実績値	R6実績値	R7実績値	達成率	進捗率
①	スポーツイベントの参加者数	人／年	5,543	6,200 181	6,250 2,937	6,300 4,047	6,350	6,400	64.2%	63.2%
②	公認のスポーツ指導者登録数	人	174	182 194	186 195	190 217	194	198	114.2%	109.6%
③	スポーツ競技団体の加入者数	人	8,562	8,740 7,904	8,830 7,933	8,920 8,643	9,010	9,100	96.9%	95.0%
④	成人の週１回スポーツ実施率	%	51.4	54.4 52.8	55.8 49.0	57.2 51.5	58.6	60.0	90.0%	85.8%
⑤	体育施設の利用者数	人／年	646,287	648,700 453,246	649,850 571,868	651,000 633,383	652,150	653,300	97.3%	97.0%

施策達成状況の説明

- ①各種スポーツイベントを開催したが、目標を下回った。
 ②県スポーツ協会と連携して公認指導者の登録を呼びかけた結果、目標を上回った。
 ③初心者教室の開催など、積極的に普及・啓発に努めたことから、加入者数は昨年度よりも増加したが、目標を下回った。
 ④前年度のスポーツ実施率は上回ったものの、目標を下回った。
 ⑤体育施設２０施設中１７施設において利用者が前年度を上回ったものの、目標を下回った。

施策経費

(単位：千円)		R5年度 決算	R6年度 予算	R7年度 見込	特記事項
内訳	事業費	370,588	455,531	426,893	
	国庫支出金	0	837	2,937	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	1,500	0	45,900	
	その他	88,539	93,839	73,532	
	一般財源	280,549	360,855	304,524	
	人件費	71,094	84,380	—	
フルコスト		441,682	539,911	—	

施策の概要（細施策）

050201	スポーツへの参加促進	生涯を通して気軽にスポーツを楽しむことができるよう、市民スポーツ大会、ロードレース大会など、子どもから高齢者まで誰もが気軽に参加できる市民参加型のスポーツイベントの開催や、地域のスポーツ大会などの支援を行います。
050202	指導者の育成	スポーツの指導者の育成を図るため、日本スポーツ協会が公認するスポーツ指導者資格などの取得支援や、県と連携した研修の充実による指導者の育成・確保に努めます。
050203	競技スポーツの推進	競技力の向上を目指し、市スポーツ協会と連携し競技スポーツ団体の育成を図り、優れた指導者や競技者の養成に努めます。 また、全国レベルの大会やスポーツ合宿を誘致するなど、多様な交流を通じた競技力の向上を図ります。
050204	スポーツ施設の充実と利用促進	市民のスポーツ活動の場となるスポーツ施設の充実を図るため、総合運動公園の早期整備や老朽化した施設・設備の計画的な改修と適正な維持管理に努めます。 また、スポーツ施設の利用促進を図るため、適切な運営管理を行うとともに、予約システム等の充実を図ります。

【CHECK（評価）施策担当部長】

施策を達成する上での問題点・課題

- ・スポーツ施設の多くが老朽化しており、計画的な改修工事を進めていく必要がある。新たなプール施設をはじめ、陸上競技場等の整備を進めていく。
- ・高齢化が進む中、高齢者がスポーツに親しむ機会があっても、若年層から働き盛り世代のスポーツへの参加促進が課題となっている。身近にスポーツに親しむ環境を整える必要を感じる。
- ・スポーツイベントの年間参加者数の目標値を達成するために、毎年定期的に開催している市民スポーツ大会等のスポーツイベントにおける競技について再検討する必要がある。
- ・競技団体やスポーツ推進委員などの協力により、スポーツイベントの開催などスポーツ振興を図っているが、活動の中心となる人が高齢化し後継者育成が課題となっている。
- ・令和6年度にインターハイ及び日本スポーツマスターズの競技が本市においても開催されることで、スポーツに対する関心が高まっている中、スポーツを通じた地域の活性化や競技力の向上を図るため、県スポーツコミッションとともに、スポーツ合宿の誘致に努める必要がある。

【ACTION（改善・改革）】

上記の問題点・課題を踏まえた事務事業の改善・改革や新規事業についての考え方

- ・スポーツ施設利用者に対して、快適で利便性が高い施設を提供できるよう、必要な改修等を行い、整備を進めていく。また、市のスポーツ施設の中長期的な整備改修計画を策定するため、アセットマネジメントによる計画と整合性を取りながら、整備改修計画を進めていく。令和6年度は、プール施設の建替に係る基本構想及び陸上競技場の全天候型改修に係る設計業務を進める。また、経年劣化による人工芝の更新検討が必要となっている古賀島スポーツ広場について、熱中症対策設備の導入など、国庫補助金を活用した改修事業の実施について検討を進める。
- ・スポーツイベント開催事業について、スポーツ人口の拡大のため実施している市民スポーツ大会の種目等が市民のニーズにあっているか精査し、内容を検討しながら、スポーツに親しむ環境を広げていく。
- ・スポーツ振興事業について、日本スポーツ協会公認資格などの取得支援や、県と連携した研修の充実による指導者の育成、確保に努め、生涯スポーツの普及推進を支える指導者の育成を図る。
- ・スポーツ合宿等誘致事業については、スポーツを通じた地域の活性化や競技力の向上を図るため、昨年度連携協定を締結した日本体育大学と協議を進めるなど、県スポーツコミッションとともに運動部の合宿誘致に努める。

令和7年度新規事業

事業名	担当課	令和7年度見込	対象・事業概要など
		事業費（千円）	
1			
2			
3			
4			
5			
		0	